

「12年一貫教育」の成果を発揮 8人に1人が医学部に進学!

系列の中学・高等学校を含めて「12年一貫教育」を掲げる西武学園文理小学校。2004年に開学し、2019年3月には西武文理で12年間学んだ4期生64名が卒業したが、現役で8名が医学部に進学するなど高い進学実績を残している。12年一貫教育の基礎を作る小学校教育について、飛田浩昭校長に伺った。

教科担任制との併用で 充実した理数教育を展開

西武学園文理小学校では、12年間の一貫教育により「世界のトップエリート」を育成することを目標としている。そのため、「心を育てる」「知性を育てる」「国際性を育てる」の3つを教育の柱として設定し、多様な教育プログラムを展開している。なかでも同校が特に力を入れているのが、理数教育と英語教育だ。



校長 飛田 浩昭 先生

小学校では、担任が全教科を教える「学級担任制」が一般的だが、同校では英語が教科化されるが、同校では1年生から英語の授業を行っており、6年間で英検®3級を全員が取得するほどの英語力を育成しているからだ。最大の特色は、「英語のシャワー」ともいえるべき豊富な時間数だ。

英語の授業自体は、1年生から6年生まで週に2時間あるが、音楽、図工、体育の授業にはネイティブのALT（外国語指導助手）が入り、教科の教員とのチームティーチングにより、英語で各教科を教えるイマージョン教育を行う場にもなっている。これらを合計すれば、英語の授業が週に10時間ほどあることになる。しかも、ALTはランチにも出席するほか、各種学校行事にも参加するため、学校生活のあらゆる局面

校では、低学年の段階から「教科担任制」を採用している。飛田浩昭校長はその理由を次のように語る。

「12年一貫教育の実効性を高めるにはカリキュラムの一貫性が大切で、それには、より専門性の高い中高の教育を熟知した教員による教科担任制が有効です。しかし、小学校段階では生活指導を担当する学級担任の存在も極めて重要です。そのため、本校では主要教科は学級担任が教え、それ以外を教科担任が教えるシステムにしているのです」

高校生に教わる ロボット・プログラミング

今年度からは、系列の中学と高校から理科教員が1名ずつ小学校の理科教員として移籍し、新たなカリキュラムで教えることになっている。実験を重視し、探求を通して論理的に物事を分析する理数的な考え方の基礎を養うことで、中高での理科教育にスムーズに接続させるためだ。

立って自作ロボットを作り、自分でプログラミングを行って、狙い通りの動きをさせる「ロボット・プログラミング講座」を、5・6年生を対象に学期に1回実施している。2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化されるが、それを先取りした形の教育内容といえる。ユニークなのは、プログラミングを教えるのが、西武学園文理高校の理数科の生徒たちであることだ。「自分たちと5・6歳しか変わらないお兄さん・お姉さんが、見事にロボットを動かす姿を見て、自分たちもそうなりたいという前向きな気持ちが生まれます。また、教える高校生にとっても、自分たちが学んだことの意義を再確認できるいい機会になっており、双方にメリットのあるプログラムといえます」（飛田校長）

英語への抵抗感をなくす 「英語のシャワー」

同校の英語教育は、国際的に活躍している人たちから高い評価を得ている。次期学習指導要領から、小学校で英語が教科化されるが、同校では1年生から英語の授業を行っており、6年間で英検®3級を全員が取得するほどの英語力を育成しているからだ。最大の特色は、「英語のシャワー」ともいえるべき豊富な時間数だ。

イギリスとアメリカへの 海外研修旅行も実施

高めた英語力を活用し、国際性を身につける教育の一環として、同校では海外研修にも力を入れている。たとえば、5年生は16日間の「イギリス短期留学」に参加する。イギリス人スタッフや世界各国から集まる同年代の子どもたちと、生活を共にしながら英語を学ぶプログラムが用意されており、英語を使うことで国籍や人種を超えた交流ができることを学ぶ絶好の機会となっている。世界のトップリーダーが輩出する

先取り学習ではなく 内容を深める方向へ

12年一貫教育とはいえ、同校では先取り学習は行っていない。中高は6年間の課程を5年間で学ぶ先取り学習をいち早く導入しているが、そのスピードについていくためには、小学校段階で体験を基にじっくり学ぶことが必要だからだ。その代わりに、英語の教科書で算数を教えるなど豊かで深い学びを実現している。



埼玉医科大学での医療体験でAEDの説明を聞く



ドクターヘリ見学

胸骨圧迫心臓マッサージの体験



ロボットをどのように活用するかを考えることは、問題解決能力や創造力を養うことに繋がり、「ロボット・プログラミング講座」では、理数科の生徒に教えてもらい、児童も楽しく学ぶ事ができる。

イートン校やオックスフォード大学、ケンブリッジ大学なども訪問する。6年生になると5日間の「アメリカ研修」が待っている。ハーバード大学やMITを訪問するほか、ボストン近郊でホームステイを経験し、ニューヨークでは現地の小学3年生と中学1年生に

「12年一貫教育を受けた西武学園文理高校卒業生として、今春初めて東大進学者が2名出ましたが、塾に通わず学校の勉強だけで合格したと聞いています。一貫教育生の8分の1が医学部に進学したことと合わせ、理数教育と英語教育を重視する本校の教育が底力になったのではないかと自負しています」（飛田校長）

